

## 第 33 回シクロデキストリンシンポジウム開催のご報告

第 33 回シクロデキストリンシンポジウムを平成 28 年 9 月 8 日（木）、9 日（金）の 両日、かがわ国際会議場にて 192 名の参加者を迎えて開催いたしました。初日の午前中には 5 演題の一般口頭発表が行われ、最新の研究成果が発表されました。次いで、特別セッション「生活素材としてのシクロデキストリン」として、ハウス食品グループ本社、ナガセ医薬品、フジ日本精糖の会社の方に食品や医薬品に利用されているシクロデキストリンの状況について説明いただくとともに、その製品の作製手法について講演いただきました。昼には、ランチョンセミナーとして、鳥取大学名誉教授古田武先生より「シクロデキストリンを用いた精油、魚油、気体の粉末化と徐放・酸化特性」という演題で、工学的視点から研究したシクロデキストリン研究を紹介いただきました。午後には 1 階展示場で 57 件の学生を中心とするポスター発表を開催いたしました。続いて行われたシクロデキストリン学会総会の後には、奨励賞を受賞された熊本大学の東大志先生、崇城大学の庵原大輔先生の表彰式が執り行われました。その後、平成 27 年度の学会賞を受賞された東京大学の伊藤耕三先生に「シクロデキストリンを用いた架橋高分子材料の開発と応用」と題して受賞講演を行っていただきました。同じく、平成 27 年度に奨励賞を受賞された神戸大学の生田直子先生に「R(+)- $\alpha$  リポ酸-シクロデキストリン包接複合体に関する研究とその応用」、城西大学の江川祐哉先生に「インスリンデリバリーシステムを指向したボロン酸修飾シクロデキストリンによる糖応答性超分子構造」と題して受賞講演を行っていただきました。このあと、平成 28 年度の奨励賞受賞講演を、庵原先生による「シクロデキストリンを利用した親水性フラーレンナノ粒子の調製と光増感剤・抗酸化剤への応用」、東先生による「シクロデキストリン超分子形成を利用したタンパク質性薬物の製剤特性の改善」を行っていただきました。両先生とも、1981 年生まれの同期の先生ということで若い先生方の活躍が期待されることを実感いたしました。講演終了後、JR ホテルクレメント高松に場所を移し、130 名の参加者を得て懇親会を開催いたしました。懇親会では、香川大学学生（風華）によるよさこいとさぬきいろは連の方々による阿波踊りを披露いただきました。阿波踊りには、香川大学の学生も参加いただき盛況に懇親会を開催できました。2 日目の午前一番には、オーストラリア・クイーンズ大学の Bhesh Bhandari 教授に「Production, properties and application of amorphous cyclodextrins」という演題で特別講演を行っていただきました。従来、シクロデキストリンとゲスト物質（オイルやフレーバー）を混合するだけでは包接体が形成されず、包接体形成にはゲスト物質とシクロデキストリン内に包接された水との交換反応が必要であると考えられていました。Bhandari 教授は、アモロファス（非晶質）のシクロデキストリンを噴霧乾燥法で作製後、ゲスト物質と混合し低湿度下で結晶化させることにより包接複合体を形成させる技術について講演いただきました。

今後、詳細な機構解明が必要と考えられますが、非常に興味ある包接複合体法と考えられました。この後午前中 6 題の一般講演が行われました。昼には、シクロケムの寺尾啓二先生による「暮らしの中のシクロデキストリン 現在・過去・未来」の演題でランチョンセミナーが開催され、シクロデキストリンの実用化技術の過去から現在の応用研究の実情についてお話しいただきました。その後、1階展示場で一般の先生方によるポスター発表が実施されました。次いで、一般講演 3 題が行われました。多くの参加者が、最終の口頭セッションまで参加いただきました。

本シンポジウムの開催にあたりましては日本化学会、日本薬学会、日本薬剤学会、日本農芸化学会、日本分析化学会、日本糖質学会、日本応用糖質科学会、日本素材物性学会、高分子学会より共催・協賛のご協力を頂きました。また、以下にご紹介させていただきます関連団体および企業の皆様より多大なご支援を頂戴し、本シンポジウムを開催できましたことを申し添えるとともに、心より感謝申し上げます。(日本シクロデキストリン工業会、公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー、味の素ファインテクノ株式会社、塩水港精糖株式会社、株式会社伊藤園、株式会社浮間化学研究所、株式会社コサナ、株式会社シクロケム、株式会社シクロケムバイオ、株式会社富士見養蜂園、関東化学株式会社、五光物流株式会社、サンデン商事株式会社、四国八洲薬品株式会社、荘司産業株式会社、ナガセ医薬品株式会社、ナガタ宇都宮営業所、日本合成化学工業株式会社、日本食品化工株式会社、日東ライフテック株式会社(ニトムズ)、北海道三井化学株式会社、丸善製薬株式会社、三菱化学フーズ株式会社、有限会社新成化学(50音順))

本学会の開催準備に関しまして、熊本大学東先生、島根大学吉清先生には、細部にわたってご指導いただき感謝申し上げます。また、拙いシンポジウム運営にもかかわらず熱心な口頭発表、ポスター発表を実施していただいた発表者の方々、および学会参加いただいた皆様、座長やポスター審査を引き受けていただきました学会会長高橋先生、副会長有馬先生をはじめとする理事、評議員の先生方に御礼を申し上げます。最後に、本シンポジウム開催の準備、運営にご協力頂いたシクロケムの方々、神戸学院大学の袁先生、林原の岸下先生、徳島文理大学の徳村先生、香川大学の学生に感謝申し上げます。

第 33 回シクロデキストリンシンポジウム実行委員会 実行委員長  
吉井英文 (香川大学農学部 教授)